

心が折れない

看護研究

看護研究において“心が折れる”ポイントは大きく2つあります。

1つは、研究をおこなう前の「問い」を立てる段階です。しておくべきことをしていなかったがために、途中でそれまでの苦労が水の泡となり「がっかり」する人が多いようです。2つめに、忙しい臨床の現場における看護研究は、負担感と徒労感ばかりが大きい、という点です。

そこでこの特集では、「問い」の立て方のお作法と、効率よく研究をおこなうための実践的ノウハウをまとめました。そして最後に、臨床こそ「問い」の宝の山だったという経験を語っていただきました。

心が折れない、やる気が上がる。

教科書では教えてくれなかった、看護研究「以前」のコツです。

